

8 月次活動報告書

団体名 さんむフォレスト

①目的

事業の目的

サンプスギによる環境共生型の住まいづくり・暮らし方について講座を開く。積木大会と併催で呼び掛けるほか、既存の活動団体と協力することで確実に参加者を集め、山武ならではの環境負荷の少ない健康的な暮らしについて広報する。

②実施概要

| 当月 | 活動名 | 実施日時 | 場所 | 内容 | 対象者 参加者(人数) |
|------|---------|--------|---------|--------------------------------------|---------------------|
| ① | 積木大会と講座 | 8月6日 | 東金市 | 打ち合わせ会議 | 11名 |
| ② | 積木大会と講座 | 8月7日 | 東金市 | 会場案内、配布資料作成 | 2名 |
| ③ | 積木大会と講座 | 8月8日 | 東金中央公民館 | 積木大会とすまいづくり・暮らし方講座 | スタッフ・10名 参加者・47名 |
| ④ | PT会議 | 8月9日 | 東金市 | プロジェクトチーム会議出席 | 1名 |
| ⑤ | 講座と見学会 | 8月9日 | 東金市 | 新月の木国際協会と共催講座の打ち合わせ | 1名 |
| ⑥ | 積木大会と講座 | 8月10日 | 東金市 | アンケート集計、会計整理他 | 2名 |
| ⑦ | 講座と見学会 | 8月22日 | 山武市 | 新月の木国際協会共催講座 「サンプスギ材の家は丈夫で長持ち美しい」 | スタッフ・7名 参加者・20名 |
| ⑧ | 講座と見学会 | 8月23日 | 東金市 | 新月の木国際協会共催講座 結果整理 | 3名 |
| 来月予定 | 活動名 | 実施予定日時 | 場所 | 内容 | 対象者 参加者(人数) |
| ⑨ | 中間報告会 | 9月5日 | のぎくプラザ | 風の宿の会議に出席 | 1名 |
| ⑩ | 講座 | 9月13日 | 東金市 | すまいづくり・暮らし方講座打ち合わせ 次回講座の開催場所を決定する | 5名 |
| ⑪ | 講座 | 9月17日 | 東金市 | すまいづくり・暮らし方講座打ち合わせ 次回講座の具体的準備について | 11名 |

③PR方法

チラシを作成し、連携団体と協力して配布する。
 チラシを参加自治体の推進委員の方々にお願いして配布する。

④連携・協力関係団体等

- ①→(LLP)グループ「木と土の家」
- ②→エコホームプロジェクト オン アース
- ③→山武郡市環境・省エネ住宅支援協議会
- ④→NPO 法人 新月の木国際協会

⑤成果・課題

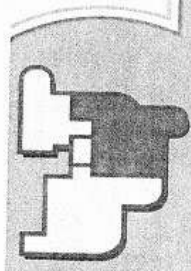
| 成果・効果 | 事業に取り組んで見えてきた課題 |
|--|---|
| <p>8月8日(日)の積木大会と講座</p> <p>山武杉を核にした資源循環の仕組みについて、展示や配布資料での広報と、スライドによる講座で理解者を増やす努力をした。アンケートの結果、概ね内容に満足したとの回答を得られ、一人でも多くの理解者をつくるという目的にかなう成果を上げることができた。</p> | <p>広報のためのチラシは前年度の1/3程度の枚数にし、メンバーとその関係団体を通じて説明を加えながら配る方針にした。結果、前年度とさほど変わらない集客数となり、講座への参加者も関心の高い方々だった。効果的な広報の仕方についてはいっそうの工夫をしたい。</p> |
| <p>8月22日(日)新月の木国際協会と共催</p> <p>木材の効果的な生産を切り口に地域振興を考える新月の木国際協会と、地産地消を切り口にするさんむフォレストが共通の目標にしたがってコラボレーションすることで、相乗効果を生むことができた。</p> | <p>共催団体の新月の木国際協会は明快な理念を持った団体であり、今回の講座、見学会もプラットフォーム事業の中での位置づけははっきりしていた。我々が共催して果たすべき役割がよく理解でき、講座や見学会の内容が組み立てやすかった。見学会は移動を伴うことがネックになるが、場所が近かったことと、人数が適当だったため混乱せず完了できた。</p> |

成果の客観的データ

千葉日報の記事

千葉日報 (日刊) 2010年(平成22年)8月26日(木曜日)

県東



千葉日報WEB
<http://www.chibanippo.co.jp>
 メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp

詳しい掲載内容の情報は

住宅にサンブスギを

伊藤左千夫生家など見学

山武

サンブスギの利用促進と地球温暖化防止へのPPO法(削減)を推進している。今年度、県の地域に選ばれ、疲弊する林業の活性化プラットフォームホーム事業の一環として、山武市歴史民俗資料館にある歌人・伊藤左千夫の生家などを見学。見学会で講演した「さんむぶフォレスト」の穂田忠弘代表(58)は「サンブスギで家を建てようという人が増えれば、森林の環境も地元大工の腕も磨かれる」と訴えた。



歌人・伊藤左千夫の生家を見学する参加者ら
 = 山武市歴史民俗資料館

活性化と森林再生を目指しサンブスギ材の活用促進を進めている。当日はまず穂田代表が手掛けた伝統的な建築法を生かした一般住宅を見学。穂田代表は換気を工夫して風が屋内を流れる仕組みなどを紹介し「何LDKとか間取りにこだわるとエアコン無しでは暮らせない家になる。設計を工夫すれば涼しく暮らせる」と伝統的な家づくりの利点を強調した。

伊藤左千夫の生家では山武市歴史民俗資料館の職員が、いろいろの煙が家の天井に流れ込み害虫を防ぐ仕組みを紹介。同協会の増田正雄理事長(74)は「コンクリートの寿命はせいぜい80年だが、伝統的な建築法と伐採法を工夫することで千年以上も長持ちすることがある」と話した。

新月の木国際協会は木材の耐久年数を延ばす特殊な伐採方法を普及させることで材木の有効利用と温室効果

イベント内容などの写真



8/8 積木大会



8/8 積木大会



8/8 展示・資料配布のコーナー



8/8 展示・資料配布のコーナー



8/8 すまいづくり・暮らし方講座



8/22 新月の木国際協会と共催、古民家見学

<推進委員コメント>

団体名 さんむフォレスト

〒283-0067 TEL/0475-52-7510 FAX/0475-52-7511

<http://www.sanmu-forest.com>